

「同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために、
小・中・地域の交流と連携を深めよう」

- 同じ地域に学ぶ子どもたちを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた指導に結び付ける。
- 地域との連携を強化し、「地域の子供は、地域で教育する」という視点で地域の教育力向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育の在り方を研究する。

I 研究の内容

1 第1回ブロック交流研究会（中止）

2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 目的 ア 学習や生活の様子を情報交換することで、地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して児童生徒の健全な育成を図る。

イ学習会を通し、学校教育における質の高い学びを実現し、学習の質向上に向け授業の進め方の理解を深める。

- (2) 日時 令和2年 11月4日(水) (3) 場所 井尻小学校（体育館）

(4) 内容 ①学習会

講師の多田孝志先生をお招きして「対話で創る主体的、対話的で深い学び」に関わる学習会を行った。

②松里地区の情報交換

II 成果と課題

1 成果

- ・感染症の影響で実施が1回しかなかったが、多田先生をお招きして主・対・深に関わる講義を受けたことは大きな成果であった。対話を交えながら聴くことができ、とても有意義だった。また、対話を生かした授業の実践を心がけながら理論を結び付けて考える機会となり貴重な学習会だった。
- ・各校の教頭先生や生徒指導の先生の話で学校の様子が分かり、よかった。学習だけでなく、SNSやオンラインなどの現状についても知ることができたことで、様子が分かり安心した。これからの指導に役立てることができた。

2 課題

- ・今年度予定されていた小・中で授業公開を行い、子どもたちの様子を見ることで、そこから本学区の情報を交換し、共通理解をもって指導にあたりたい。
- ・中学入学までに心がけたり取り組んだりしておいたほうが良いことや、小・中間で共通理解したいこと等を確認して小・中でこれからも連携できる会にしていきたい。

(ブロック長 山下史江)